

2023年5月9日

各位

会社名 株式会社アイネット
代表者名 代表取締役 兼 社長執行役員 坂井 満
(コード番号：9600、東証プライム市場)
問合せ先 経営企画本部長兼経営戦略・IR部長 志賀 雅博
(TEL. 045-682-0806)

中期経営計画（2022年4月-2025年3月）計数目標の修正について

当社は、2023年5月9日開催の取締役会において、2022年5月6日に開示した中期経営計画（2022年4月-2025年3月）における計数目標を、下記のとおり修正することにしましたので、お知らせいたします。

記

1. 中期経営計画における計数目標の修正

	2025年3月期		2023年3月期
	当初計画	修正計画	直近実績
売上高（百万円）	37,700	40,000	34,988
営業利益（百万円）	3,200	3,200	2,129
営業利益率	8.5%	8.0%	6.1%
自己資本当期純利益率（ROE）	10%以上	10%以上	7.7%

2. 修正の理由

本日公表しました2023年3月期の業績、及び2024年3月期の業績予想を踏まえ、中期経営計画の計数目標を上記のとおり見直すこととしました。

計画初年度となる2023年3月期は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が徐々に解除され、景気回復への期待感が高まりました。しかしながら、急激な円安や世界的な資源・エネルギー価格の高騰が物価高を招いたため、当初想定していたよりも厳しい事業環境となりました。

このような環境下、当社グループの2023年3月期業績は、すべてのサービスにおいて前期比増収となりました。但し、電気料金等の高騰のため、利益については計画値を下回る結果となっております。

今期、2024年3月期は、前期に引続き、売上は好調に推移することを見込んでおり、最終年度2025年3月期に計画していた売上高377億円を1年前倒しで達成すると予想しております。このため、2025年3月期の売上高の計数目標を400億円に引き上げました。

一方、営業利益の計数目標については、当初計画時と同じ32億円を維持するものとししました。前述の如く、当初想定よりも厳しい事業環境となっていることに加えて、主にデータセンターの能力向上を目的とした前向きな設備投資を積極的に進めた結果、償却負担も増していること等も考慮しました。営業利益率については、8.0%になると見込んでおります。

3、事業戦略の見直しについて

当社グループの事業領域である情報処理やシステム開発に係る事業環境は、急速に変化をしており、計画立案時の状況とは大きく異なってきております。

当社グループは、新たな事業環境に対応すべく、自社グループの事業戦略について、適宜、見直しを実施しております。当該見直しを実施した結果、現在の中期経営計画そのものを修正する必要があると判断した場合には、その内容について、可及的速やかに公表する所存です。

以 上